

奨学生志望の皆さんに

一般財団法人中西奨学会の「目的および事業」として、その定款の

第3条（目的）に

この法人は、高等学校、高等専門学校、大学または大学院の学生生徒で、学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由により修学困難な者に対して奨学援助を行い、将来社会に貢献し得る有用な人材を育成するとともに、産業科学技術に関する調査、研究に対する助成を行い、もってわが国産業科学技術水準の向上に寄与することを目的とする。

第4条（事業）に

この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 奨学金の給与
 - (2) 科学技術に関する研究に従事する者に対する助成
 - (3) その他前条の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項各号の事業は、日本全国において行うものとする。

と規定されておりました、これに基いて定められた「奨学金給与規程」、「奨学生募集要項」等により選考の上、当会から奨学金の無償給与を受ける「奨学生」に採用されます。

本会の奨学金制度の内容や、奨学生募集の詳細については貴校事務室（奨学金担当）でお問い合わせの上、奮って応募して下さい。

【応募先・お問合わせ先】

〒530-8566 大阪府大阪市北区天満橋三丁目三番五号
中西金属工業株式会社内

一般財団法人 中西奨学会

電話 06-6351-4144

奨学生募集要項（附 願書の記載の仕方）

一般財団法人中西奨学会

1. 申請の資格

学校教育法による学校において、人物、学力ともにすぐれ、かつ健康であって本会の奨学金の給与が必要であると認められる者に限ります。ただし次の者は出願の資格はありません。

- (1) 最短修業年限をこえて在学する者
- (2) 大学に在学する者のうち選科生、聴講生の別科生

2. 申請の手続き

本会の奨学金給与規程第4条により次の書類を必ず提出して下さい。

- (1) 奨学生願書（本会所定用紙）
- (2) 在学学校長または学部長の推薦書および在学証明書
- (3) 医療機関による健康診断書（提出時前3ヶ月以内のもの）

3. 奨学生の種類と奨学金の月額、給与期間

奨学生の種類	給与月額		給与期間	備考
	国公立	私立		
高等学校奨学生	10,000円	15,000円	在学する学校の最短修業年限の終期まで。	受領金の返還義務はありません。但し、不正手段により給与を受けた者はこの限りではありません。
高等専門学校奨学生	20,000円			
大学奨学生	40,000円	45,000円		
大学院奨学生	40,000円	45,000円		

4. 申請の時期、採否決定の時期と通知の方法

奨学金給与申請の時期は特別の事情のない限り毎年4月1日～5月末日までとし、6月中に選考委員会を開いて適格度の高いものから採用を決定します。採用となった者には学校を通じ「奨学生採用通知」を送付し本人に通知します。採用もれとなった者には通知しません。新規奨学生に対しては、4月にさかのぼって4、5、6月分の合計奨学金を一括して本人の口座宛に送金いたします。

5. 採用になった場合

採用になった者には、学校から「奨学生採用通知」と「誓約書」および「保証書」用紙の交付を受け、誓約書、保証書には所要事項を記入の上、押印して必ず指定の期日までに直接当会に提出して下さい。

理由なく期日までに提出を怠った者は採用を取消します。

6. 提出の「健康診断書」について

必ず医療機関（保健所、病院等）で検診を受けて、「健康診断書」を提出して下さい。

本人身上書欄（健康状態）の記入もこれに基づいて書いて下さい。

7. 提出の「誓約書」について

「誓約書」はあなたが奨学生として採用されて以後、連帯保証人と連帯して果たす責任と義務を誓約するためのものです。

8. 「誓約書」の「連帯保証人について」

- (1) 「連帯保証人」は将来本人と連帯して弁済の責任を負うことがあります。
- (2) 「連帯保証人」は父母、兄弟が望ましいが、事情によってはこれに代わる適当な人を選出して下さい。
- (3) 「連帯保証人」の氏名は必ず自署してもらって下さい。印鑑は申請者と同一のものは書類不備となりますから注意して下さい。

9. 奨学生の義務

- (1) 当会の奨学金給与規程および奨学生募集要項に記載の各条項をよく読んで、その規定に違反しないよう常に心掛けて下さい。
- (2) 奨学金は学生生徒がまじめに勉学をするための学資として無償給付を受けるもので、奨学生は卒業後も返還する義務は全くありません。
- (3) また卒業後就職その他についても何らの拘束を受けることはありません
- (4) 学問、教養を十二分に身につけて社会に貢献する立派な人材になりうるよう懸命に努力して下さい。
- (5) 但し、願書の記載内容をごまかしたり、その他不正な手段によって奨学金の給与を受けたことが判明したときは、即時、全額を一時に返還する義務が生じます。
- (6) 住所その他の記載内容に変動を生じたときは、遅滞なくその事由を書面で届け出て下さい。

無届けのまま放置されますと、奨学金給与を停廃止されることもありますので、くれぐれも注意して下さい。

「奨学生願書」(申請書) 記入上の注意

奨学生願書(申請書)は、選考上の大切な資料でありますから、申請時現在の状態で事実をありのままわかるように記入して下さい。記載すべきことが書かれてないとき、判読困難等不備の申請書は選考から除外します。また記載内容が故意に事実と相違して記入してある場合は、採用後においても採用を取消しますから正確に記入するよう注意して下さい。

1. 「氏名・現住所」

氏名・現住所は必ず記入し、氏名にはふりがなをひらがなで記入して下さい。各欄は同一の場合でも「同上」とせず、必ずそれぞれの欄にあらためて記入して下さい。自宅については、父母または家計支持者と同居している場合は、借家、間借、親戚宅等であっても自宅とします。

2. 「家族身上調書」

「家族」には、同居・別居を問わず、申請者の2親等(祖父母、父母、兄弟、姉妹等)以内のものは全員、ただし結婚して別居独立の生計をいとなむ兄弟姉妹および生計を一にしない別居の祖父母は記入しなくてよい。

- (1) 年齢は申請時の4月1日現在で満年齢を記入して下さい。
- (2) 職業は「商業」などとせず食料品小売商、洋服仕立業、国家公務員、地方公務員、小学校教員、会社員等と具体的に記入して下さい。
- (3) 勤務先、役職名は具体的に「最終学歴」は就学中者、未就学者を除き全部記入して下さい。

3. 「1年間税込総収入金額」

- (1) 給与所得の収入(税込)金額は必ず家族に確認の上記入し、申請時の月を最終とする最近1ヶ年を基礎とする。

給料、諸手当、賞与を含む収入総額(源泉徴収票等という支払金額であって1年間の税込収入をいう)を記入して下さい。

同一人について2種類以上の給与所得のある場合は、合算して記入して下さい。

- (2) 給与所得以外の所得金額は、収入金額から必要経費を差し引いた金額を記入して下さい。

4. 「奨学金を希望する理由」

奨学金給与を申請するに至った事情などを具体的に記入して下さい。

5. 「本会以外の奨学金関係事項」

現在本会以外の奨学金の給与を受けている者は必ずその事項を記入して下さい。

6. 「本人の履歴」

高校入学以降の履歴を年月順に記入し学歴、職歴、自宅研修、家事従事の期間、そ

の他空白期間のない様記入。

7. 「1ヶ月当り平均生活費」

- (1) 1年生は見込額を記入し2年以上については過去1ヵ年の月平均生活費を記入して下さい。
- (2) 学費に該当する分は生活費に含めないで下さい。学費の出所については「学費出所」例えば
家庭から〇〇〇円、定職から〇〇〇円、アルバイトから〇〇〇円等として記入して下さい。
- (3) 「支出」欄の食費「住居費」は自宅通学者は原則として記入しないで下さい。
ただし昼食等の支出は食費の項目に記入し、自宅外通学者で食費、住居費を一括して下宿代等として納めている場合は住居費として下さい。

奨学生願書の提出等で得た個人情報、奨学金給与ならびにこれに関連することのみに使用し、奨学生の個人情報を奨学生またはその保証人の同意なしに第三者に開示・提供することはありません。

(ただし、法令などにより開示を求められた場合を除きます)

一般財団法人中西奨学会 奨学金給与規程

一般財団法人中西奨学会 奨学金給与規程

第1章 総 則

一般財団法人中西奨学会定款第3条に基づき、この規程を定める。

(奨学生の資格)

第1条 当会の奨学生となるものは、高等学校、高等専門学校、大学または大学院に在学し、学業、人物とも優秀で、かつ、健康であって、学資の支払いが困難と認められる者でなければならない。

(奨学生の種類)

第2条 奨学生の種類は、次に掲げられるものとする。

- (1) 高等学校奨学生
- (2) 高等専門学校奨学生
- (3) 大学奨学生
- (4) 大学院奨学生

(奨学金の給与期間および金額)

第3条 奨学金を給与する期間は、正規の最短就業年限とする。

2 前項の期間中に給与する奨学金の額は、次のとおりとする。

区分／給与月額	国公立	私立
高等学校奨学生	月額10,000円	月額15,000円
高等専門学校奨学生	月額20,000円	
大学奨学生	月額40,000円	月額45,000円
大学院奨学生	月額40,000円	月額45,000円

第2章 奨学生の採用と奨学金の交付

(奨学生願書および奨学生推薦書の提出)

第4条 奨学生志望者は、当会あての奨学生願書に、在学学校長の推薦書および在学証明書を添えて当会に提出するものとする。

(奨学生の採用)

第5条 奨学生の採用は、奨学生選考委員会の選考を経て、理事長が決定し、その結果を在学学校長を経て、本人に通知する。

- 2 奨学生として採用された者は、前項の通知を受けた日から15日以内に保証人と連署した誓約書を理事長あてに提出しなければならない。

(奨学金の交付)

第6条 奨学金は、3ヶ月分を合わせて交付するものとする。ただし、特別の事情があるときは、この限りではない。

- 2 奨学金の交付は、在学学校の事務局経由又は、直接本人に送金して行うものとする。

(奨学金受領書の提出)

第7条 奨学金の交付を受けた奨学生は、そのつど、ただちに奨学金受領書を提出しなければならない。

(学業成績および生活状況の報告)

第8条 奨学生は、毎年度末、生活状況報告書を理事長あてに提出しなければならない。また、奨学金給与期間の最終の年度末には、学業成績表を併せて提出しなければならない。

(異動届出)

第9条 奨学生は、次の各号の一に該当する場合は、直ちに届け出なければならない。ただし、本人が病気その他の事由により報告できないときは、保証人が届け出るものとする。

- (1) 休学、転校または退学したとき、または長期にわたって欠席しようとするとき。
- (2) 停学、その他の処分を受けたとき。

(奨学金の休止および停止)

第10条 奨学生が休学し、または長期にわたって欠席したときは、奨学金の交付を休止する。

- 2 奨学生の学業または性行などの状況により指導上必要があると認めるときは、奨学金の交付を停止する。

(奨学金の復活)

第11条 前条の規定により奨学金の交付を休止または停止された者が、その

事由が止んで在学学校長を経て願い出たときは、奨学金の交付を復活することがある。

(奨学金の廃止)

第12条 奨学生が、次の各号の一に該当すると認めるときは、在学学校長の意見を参考にして奨学金の交付を廃止する。

- (1) 傷病などのため成業の見込みがなくなったとき
- (2) 学業成績または操行が不良となったとき
- (3) 奨学金を必要としない理由が生じたとき
- (4) 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき
- (5) 在学学校で処分を受け学籍を失ったとき
- (6) その他、第1条に規定する奨学生としての資格を失ったとき

(奨学生の辞退)

第13条 奨学生は、いつでも在学学校長を経て奨学金の辞退を申し出ることができる。

第3章 補 則

(実施細目)

第15条 この規定の実施について必要な事項は、別に定める。

附則

1. 施行日

この規定は、平成24年4月1日から実施する。

2. 履歴

平成25年4月1日改定

奨学生願書

平成 年 月 日

写真

最近6ヶ月以内に
撮影
約30mm×40mm
本人上半身

一般財団法人中西奨学会
理事長 中西 竜雄 殿

私は、貴会の奨学金給与規程および奨学生募集要項に定める諸規定を了承の上、貴会の奨学生に採用せられたく、所定願書に必要な書類（学校長発行推薦書、在学証明書、所定健康診断書）を添付して申請します。

(フリガナ) 氏名	⑩	男・女	生年月日	昭和・平成 年 月 日 (満 歳) ※申請日時点
現住所	(〒 -) 【住居形態】 自宅・アパート・社宅・寮・間借・下宿			
TEL	E-mail			
学校 学科				学年

— 身上書 — ※できるだけ具体的かつ正確に書いてください

I 本人に関する事項

希望進路		得意学科、 特技など	
趣味など		健康状態	
奨学金を希望する理由： ----- ----- -----			
本会以外の奨学金関係事項：			
高等学校 入学以降 履歴	学校名・学部名	入学年月	卒業年月
		平成 年 月	平成 年 月
		平成 年 月	平成 年 月
1ヶ月当り平均生活費： -----			

II 家族に関する事項

家族現住所	(〒 -)				
続柄	家族氏名	年令	職業・勤務先・役職 又は在学学校名	年収(税込)	同居 別居
				万	同・別
				万	同・別
				万	同・別
				万	同・別

平成 年 月 日

殿

筑波大学長
永田 恭介

推薦書

下記の者を、貴奨学生として適当と認め推薦いたします。

記

所属	筑波大学	学群		学類	
		課程		研究科	年次
氏名	_____				

推薦所見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

指導教員等	所属	氏名	印
-------	----	----	---

家 庭 調 査 書													
申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____											
	学籍番号	_____						性別	男・女	現住所	〒 _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____ (_____)		
	フリガナ	_____								家族住所	〒 _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____ (_____)		
	氏 名	_____											
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在 職 期 間	勤 務 先 名 称			給与所得の収入金額 (税込)	給与所得以外の所得金額		
		父				年				万円	万円		
		母					年				万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()											
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()											
							年				万円	万円	
別 居 者 に 関 する 事 項	就 学 者	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設 置 者 別	学 校 種 別		通 学 別	控 除 額			
		本人			筑波大学	国立			※自 宅 自 宅 外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円			
家 庭 の 特 殊 事 項	特別控除項目		控除有無 _____										
	障害者がある世帯		※有・無 _____ 続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()										
	その他												
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)						認 定				
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()						総収入金額	① 万円			
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()						必要経費	② 万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()						特別控除額	③ 万円			
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()						総所得金額	④=①-②-③ 万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人			
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円			
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100			

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のある世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。